

仙台市太白山自然観察の森 情報誌 2023年1月号

森のおくりもの1

NO.376 The Gift from Woods

雪の太白山



葉が落ちた森の中は、花や葉を目で探したころとは違い、枝に止まる野鳥や、裸木の姿・幹肌に視線を送るようになると思います。また、雪が積もっていれば食痕や足跡など動物たちの痕跡を発見できるかもしれません。ガイドウォークは冬の間も開催中です。新年を迎え、新しい事・楽しい事・森の素敵な出会いがたくさんありますよう、スタッフ一同精一杯お手伝いさせていただきますので、今年もよろしく願いたします。

【文：館長 佐藤由美】

森のことは

自然の様子や出来事を四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします。

『ケセラセラ(Que será será)』

年が明けて2023年は卯年です。うさぎといえば、太白山自然観察の森にもノウサギが棲息していますが、森でノウサギを見たいと思ってもめったに見られません。この辺に棲息しているノウサギの種類は、多雪地域だと冬に体毛が白くなる特徴を持つトウホクノウサギですが、ここでは冬でも毛の色が変わることはありません。

新年を迎えると寺社に初詣へ行き、お守りを授けてもらう方も多いと思いますが、自然の中には「ケサランパサラン」という不思議でおもしろいお守りがあります。ケサランパサランとは、白い綿毛のような形状の妖怪や妖精ともいわれる生き物で、みつけると幸せになれると伝承されています。ここまでは四つ葉のクローバーと同じようなものですが、年に1度しか見てはいけなく、2回以上見ると効果がなくなる、他人に見せたり持っていることを話したりしてはいけなく、などのきまりがあります。見せてはいけなくので確認ができず、そのため正体が明らかになっていません。植物の種子の綿毛、昆虫、動物の毛、鉱石など様々な説があり、みつけた人が思い込めばそれがケサランパサランです。私が一押しのお説は“ペリット”説です。鳥類には未消化物を吐く行動があり、その吐いたものをペリットといいます。フクロウやワシ・タカの猛禽類などがノウサギを食べた際に吐き出した毛玉のペリットをケサランパサランとして展示している博物館があり、それがイメージに合うのです。

ノウサギは、1頭の雌が1年間に産む仔の数が平均10頭と多産ですが、キツネやテンなどの肉食動物、ヘビや猛禽類など多くの生物に食べられるので増えすぎることなくバランスが取れ、豊かな生態系を支える重要な役割を担っています。近年は自然環境の変化などで棲息環境が悪化し、生息数が減少しているようです。なかなか見られないノウサギなので、ノウサギの毛玉のケサランパサランを見つけることはかなり難しそうで、みつけれたらすごくレアなお守りになり、幸せになれそうですね。

この謎に包まれたケサランパサランは、語源も諸説あって『ケセラセラ』からきているという説があります。『ケセラセラ』は「心が軽くなる魔法の言葉」として知られていますが、元々は映画の主題歌のタイトルで、スペイン語風の造語らしく、「ものごとはいつの間にかうまい具合に進むものだから、あれこれと気をもんでも仕方がない。成り行きに任せてしまうのがよい」という意味です。この運を天に任せる感じがお守りの概念と同じだと思いました。

現在、私たちが直面している困りごとは、自分の力ではどうにもならないことばかりです。「自分の力でコントロールできないことを悩んでも仕方がない。いつの間にか自然と解決するさ！」とケセラセラ精神で今年も楽しく笑って過ごすといいのではないのでしょうか。 【レンジャー：新田隆一】



冬の森で見つかる生き物たち①

葉っぱが落ちて明るくなった冬の森。そんな冬の森を静かに観察してみると、いろいろな生き物たちを見つけることができます。たとえばチョウの仲間でも卵、幼虫、蛹、成虫と種類によって様々なステージで冬越ししています。今月から2回にわたり、そんな生き物たちを紹介します。
【レンジャー：齋 正宏】



オオムラサキの幼虫
日本の国蝶です。エノキの木の下
の落ち葉の裏で冬越しします。



スミナガシの蛹
枯れ葉と間違ふような姿に擬態して
います。なかなか見つかりません。



オオミドリシジミの卵
コナラの枝で見つけました。直径1mm
ほどの大きさです。



ルリタテハ
成虫で冬越しします。羽を閉じると
なかなか見つけることができません。



クワエダシャク
の幼虫
ヤマグワの枝で見つけました。枝の形
にそっくりに擬態をしています。



クロアゲハの蛹
これは緑色でしたが、茶色のタイプも
あります。

※ その他にもセンターの展示室で『冬の森で見つかる生き物たち』の写真を展示しています。是非お越しください。

森の「あれこれ」



「冬の“サムライブルー”」

皆さんはサッカーW杯見ましたか!?!年明け早々昨年話題で恐縮ですが“ドーハの悲劇”から日本代表を応援してきた私は、ドイツ戦・スペイン戦に勝利する姿を生きてるうちに見られるとは!!、と思わず感涙…。との前振り(笑)、今回はサムライブルーの人気者についてです。



ルリビタキはヤマガラやスズメくらいの小鳥で、夏は蔵王や泉ヶ岳など高い山で子育てをしますが、冬期は低地や山のふもとで冬越しをし、観察の森でも出逢えます。オス(上の写真右側)はのどからお腹にかけての白、脇の橙黄色、そして背中から尾にかけての青色が目立ち、メス(左側)は背中がオリーブ褐色です。この季節“幸せの青い鳥”を一目見ようとバードウォッチャーやカメラマンが連日訪れます。確かにブルーの映える、きりっとした顔つき(に見える)のオスは人気ですが、尾羽に青をあしらった優しいまなざしのメスもなかなか清楚でファンが多いのでは?皆さんはどちらを“推し”ますか?ただし若いオスはメスと良く似た色合いで見分けが難しいです。

見つけるコツは声に気を配ることです。スマホなど動画で“ヒッヒッヒッ”“グググッ”というルリビタキの地鳴きの声を聞いて覚えておくと探す手立てになります。観察の森のオスからは“チョロチョロチョロリ”とさえずりに近い声も聞かれますよ。

【レンジャー：木田秀幸】

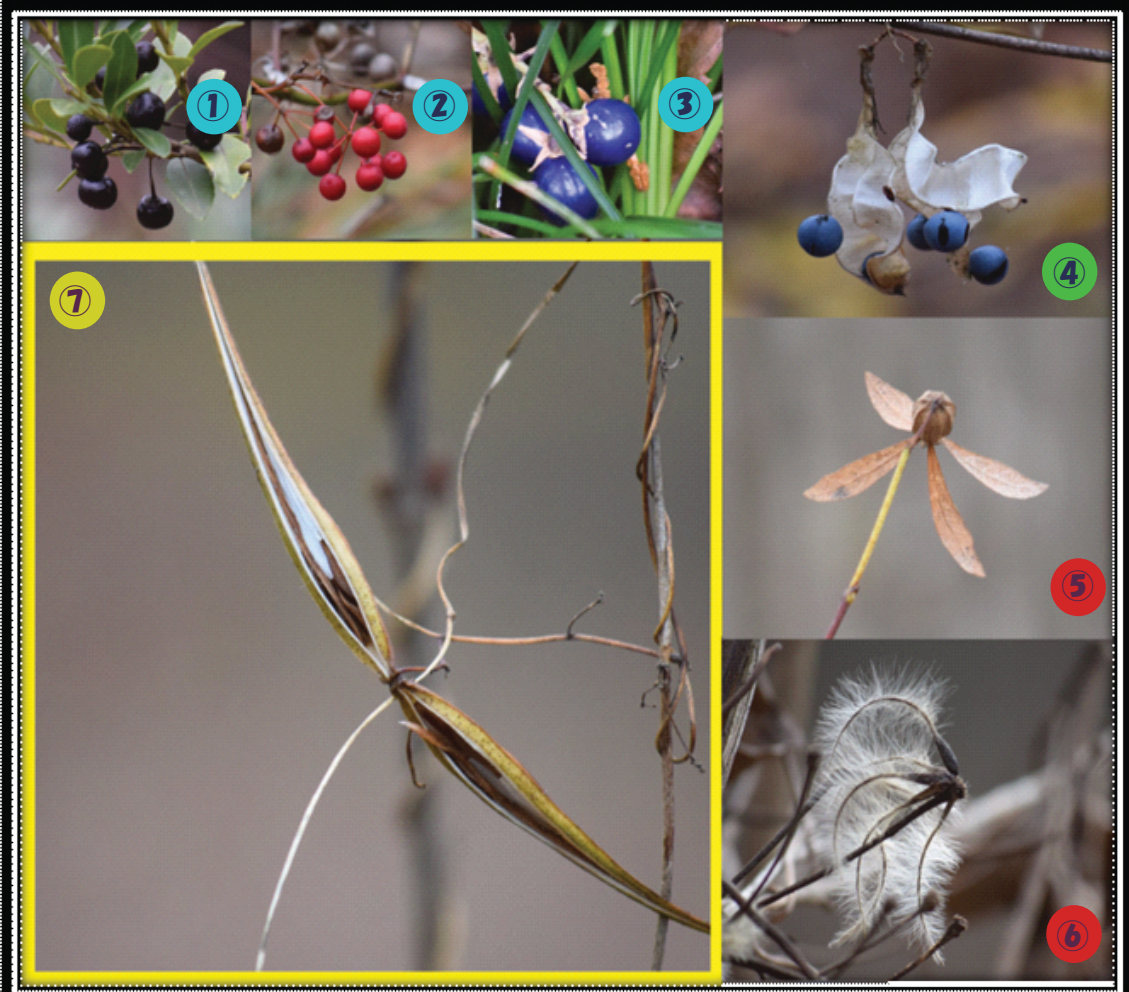
森は糸



森は布

森は様々な生き物が互いにつながって
森として生きているんですね (*_*)

冬枯れの森で木の実や草の実を探しながら散歩するのは楽しいものです。色や形がバラエティに富んでいて見とれてしまいます。写真①は艶々したイヌツゲの黒い実です。写真②は①と同じような付き方をしていますが、サルトリイバラの赤い実です。濃い瑠璃色にはっとさせられる写真③は常緑の葉から顔を出したオオバジャノヒゲの種子です。これらの実や種子は落下して子孫を増やすだけではなく、目を引く色で鳥や動物を誘って種子散布する作戦のようです。動くことのできない植物はあの手この手で次世代に命を繋ごうと必死に戦略を立てているんですね。 ……(^_^♪



鞘が割れて種子が飛び出している写真④はノササゲの種子です。色付きの種子は飛び散りませんがこの後どうなるのでしょうか。⑤はいかにも風で飛ばされそうなツクバネの実です。4枚の苞が羽の正体です。もふもふの羽毛に覆われている写真⑥はトリガタハンショウヅルの実です。ふわっと冬空に舞い上がりそうですね。白髪のような毛は雌蕊についていたものです。風をうまく使えるように形を作り出すとは見事です。さて写真⑦は舞踏会の面のような感じです。鞘が少し割れて中が見えますよ。オオカモメヅルの実ですが、どんな種子を作ったのでしょうか。 ……(^_^♪ 【レンジャー:菅原幸彦】

1月のイベント&お知らせ

イベント

◆「野鳥観察とバードケーキ作り」

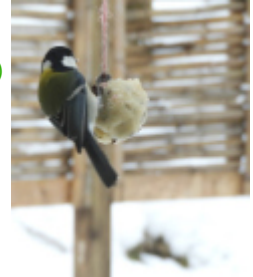
【日時】1月14日(土)10:00~11:30

【対象】小学生以上 10名 (中学生以下は保護者同伴)

【内容】野鳥の観察と野鳥のえさのバードケーキを作ります

【持ち物】双眼鏡、図鑑 (双眼鏡の無料貸し出しあり)

【申込み】1月6日(金)午前9時より電話受付(先着)



◆「かわいい雪だるまのリースを作ろう」

【日時】1月22日(日)・1月29日(日)(どちらか1回) 13:30~15:00

【対象】小学生以上 各日 10名 (小学3年生以下は保護者同伴)

【内容】自然素材で作った雪だるまや木の実を付けたリースを作ります

【持ち物】参加費200円

【申込み】1月7日(土)午前9時より電話受付(先着)



◆「野鳥のレストラン」OPEN!

【期間】3月31日(金)まで (開館時間中)

野鳥のためのえさ台を設置しています。えさを食べに来る野鳥を室内のぞき窓からそっと観察することができます

ガイドウォーク

毎週日曜日開催

申込み不要、どなたでも参加できます

開催日: 8日, 15日, 22日, 29日

時間: 10:00~11:30

※12月~3月の冬季は午前1回のみ開催

休館日



10日, 16日, 23日, 30日

毎週月曜日休館、年末年始
12月28日~1月4日まで休館

観察の森へのアクセス



宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
- ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
- ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分

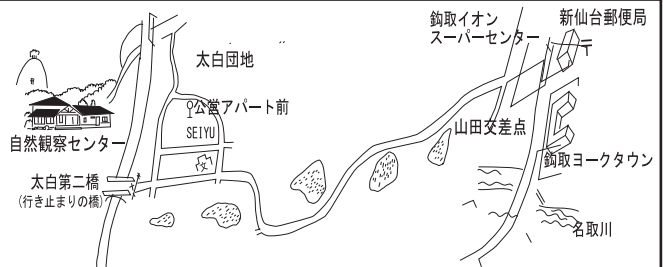
【行先】①②③「太白団地経由山田自由ヶ丘車庫行」

※③のみ「太白団地、山田自由ヶ丘経由仙台南ニュータウン行」

いずれも 公営アパート前 下車→徒歩15分

お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。
駐車場から徒歩5分でセンター



〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

発行: (公財)仙台市公園緑地協会

編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター